

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道42号 ^{しみず} 冷水拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局																					
起終点	自：和歌山県 ^{かいなん} 海南市 ^{しみず} 冷水 至：和歌山県 ^{かいなん} 海南市 ^{ふじしろ} 藤白	延長	1.1km																							
事業概要	<p>一般国道42号は、静岡県浜松市から和歌山県和歌山市を結ぶ延長約538kmの道路である。 冷水拡幅は、和歌山県海南市冷水～海南市藤白間の一般国道42号の拡幅事業として、交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的に計画された道路である。</p>																									
H19年度事業化	H19年度都市計画決定 (H-年度変更)	H21年度用地着手	H23年度工事着手																							
全体事業費	約49億円	事業進捗率	24%	供用済延長	-																					
計画交通量	20,100台/日																									
費用対効果 分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">B / C</td> <td style="width: 10%;">(事業全体) 1.4</td> <td style="width: 10%;">(残事業) 1.9</td> </tr> </table>	B / C	(事業全体) 1.4	(残事業) 1.9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総費用</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>33/43億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>30/40億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2.7/2.7億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)		33/43億円	事業費	30/40億円	維持管理費	2.7/2.7億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総便益</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>62/62億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>58/58億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>1.3/1.3億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>2.6/2.6億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)		62/62億円	走行時間短縮便益	58/58億円	走行経費減少便益	1.3/1.3億円	交通事故減少便益	2.6/2.6億円	基準年	平成23年
B / C	(事業全体) 1.4	(残事業) 1.9																								
総費用	(残事業)/(事業全体)																									
	33/43億円																									
事業費	30/40億円																									
維持管理費	2.7/2.7億円																									
総便益	(残事業)/(事業全体)																									
	62/62億円																									
走行時間短縮便益	58/58億円																									
走行経費減少便益	1.3/1.3億円																									
交通事故減少便益	2.6/2.6億円																									
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=1.3～1.6(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=1.7～2.1(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.3～1.6(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.7～2.1(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.5(事業期間 ±20%) 事業期間：B/C=1.8～1.9(事業期間 ±20%)</p>																									
事業の効果等	<p>交通混雑の緩和・所要時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道42号は交通容量を超過しており、交通渋滞が発生。整備により渋滞解消効果が見込まれ、朝夕ピーク時など混雑時間帯での所要時間短縮が期待される。 <p>交通安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道42号の拡幅で交通混雑が緩和し、交通事故発生件数の減少が期待される。 <p>関西国際空港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 有田市～関西国際空港への所要時間が短縮。(62分 53分) <p>和歌山下津港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 海南市～和歌山下津港(有田港区)への所要時間が短縮。(20分 15分) <p>日常活動圏中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 有田市～和歌山市への所要時間が短縮。(50分 39分) <p>高度医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 有田市～和歌山県立医科大学付属病院への所要時間が短縮。(25分 19分) 																									
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道42号・有田海南間整備促進協議会(H9.5設立 有田市長、海南市長、湯浅町長等)より、早期整備の要望を受けている。 <p>和歌山県知事の意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道42号冷水拡幅は、国道42号有田海南道路と合わせ、国道42号の渋滞解消や交通事故の減少を図るとともに、有田市及び海南市の生活圏の連携強化により地域の活性化に資する道路であることから整備が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。 なお、事業着手から7年が経過しており、早期に用地買収を進め、工事に着手できるようお願いします。 																									
事業評価監視委員会の意見	<p>審議の結果、「一般国道42号冷水拡幅」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。</p>																									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>一般国道42号は、依然として交通量が交通容量を超過しており、朝夕ピーク時に冷水交差点を先頭に交通渋滞も発生している。</p>																									
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成19年度に事業化、用地進捗率32%、事業進捗率24%(平成26年3月末時点)</p>																									

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
引き続き事業を推進し、早期開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

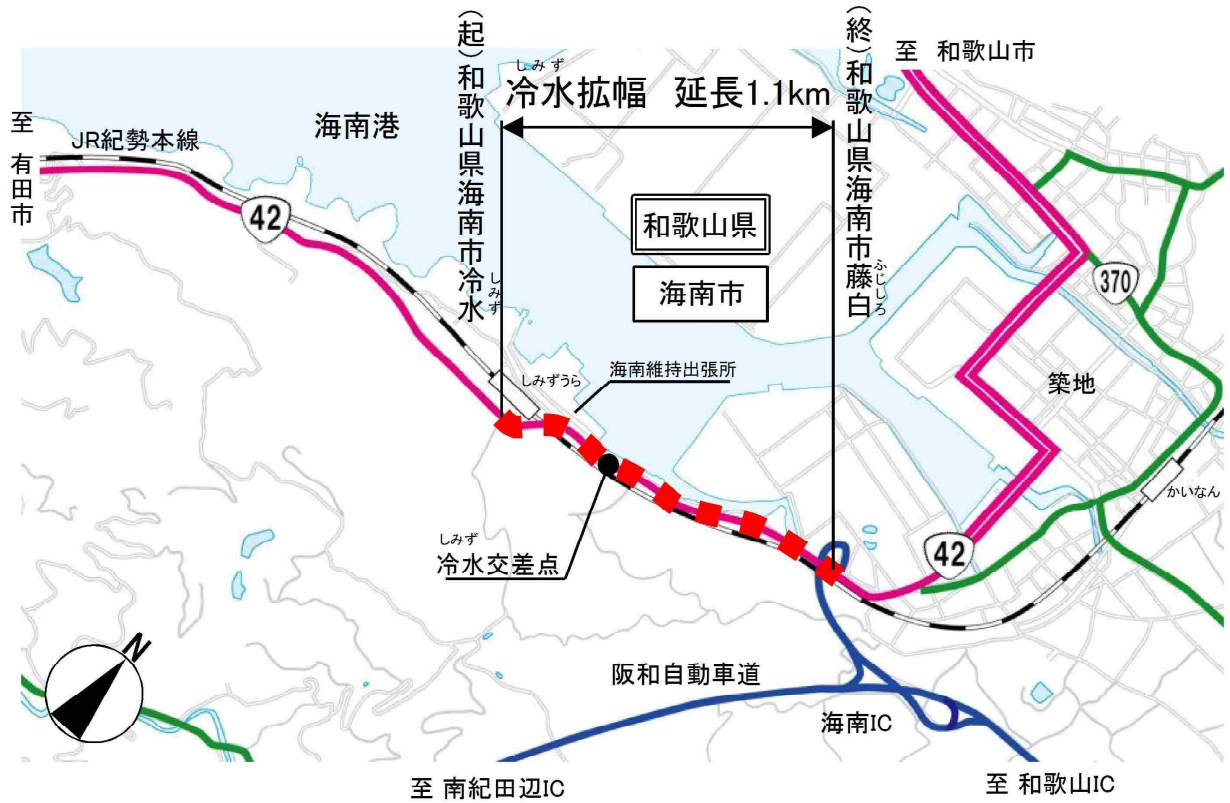
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。